

# メトロポリタン

## ★の物語

### 地球外生物との遭遇

◇11月19日 夜空に輝く「？」と見たことありませんか  
さんの星を見て「どこかに生物？」最近の観測で地球に似た感  
がする星があるのかな 星が数多く発見されています。

その中で条件がよい惑星では生  
命が発生してもおかしくあ  
りません。近い将来、地球外生  
物と遭遇する日が来るかもしれ  
ませんよ。

(星見人)

談論・誘発  
データファイル  
@首都圏  
ご意見募集  
FAX  
03(3595)7085  
Eメール  
syutoken@  
tokyo-np.co.jp

感謝状を贈られ笑顔の(左から)川上さ  
ん、吉本さん、市川さん=千葉県市川市で



## ALSで夫亡くし 相談員として活動

全身の運動神経が侵され  
身体を動かすことが困難に  
なる難病、筋萎縮性側索硬  
化症(ALS)で夫を亡く  
した後、「ALS医療相談  
員」として長年、患者や家  
族らに寄り添い相談に応じ  
る三人の女性に、活動拠点  
の鎌ヶ谷総合病院(千葉県  
鎌ヶ谷市)から「患者家族  
に難病と向き合う勇気を与  
えた」と感謝状が贈られ

川上純子さん(左)千葉  
県船橋市、吉本佳穂子さん  
(中)東京都渋谷区、市  
川千津子さん(右)千葉県  
印西市。同病院の「ALS  
医療相談室」で、医師やス  
タッフとともに、相談員と  
して患者や家族らに接す  
る。川上さんと吉本さんの  
活動歴は、相談室が国府台  
病院(千葉県市川市)にあ

った時から約二十年におよ  
ぶ。市川さんは約八年。  
相談は毎週火曜日の午  
後。医学的なことは医師ら  
が説明し、三人は患者や家  
族らの悩みに応じる。介護  
や医療保険の仕組み、経済  
的負担を軽減する方法など  
内容は多岐にわたる。電話  
やメールでも対応し、時に  
は自宅なども訪問する。  
三人はALSで夫を亡く  
した経験を持つ。それぞ  
れ、夫の死後に医師らから  
相談員として活動すること  
を要請されたことがきっか  
けだった。川上さんは「患

者本人も苦しいが、支える  
患者もまた苦しい。同じ立  
場を知っているからこそ、  
できる」と語る。  
感謝状は三日、患者や家  
族、医療関係者らで組織す  
るグループ「ALS自立支  
援千葉県葛ネットワーク会  
議」が市川市で開いた会合  
で手渡された。川上さんは  
「少しでも力になることが  
できうれしい。これからも  
続けたい」と話した。問い  
合わせは、川上さん=電0  
47(439)8561=

(北浜修)

## 「患者家族に勇気与えた」 千葉・鎌ヶ谷の病院が3人に感謝状

全身の運動神経が侵され

# 3カ国の現場巡り、直接体験

# 女子大生が見た 日中韓の「辺境」

政治家とメディアが伝えない東アジアの現場を歩き、直接体験しようと、東京の女子大生たちが日本と韓国、中国を回るユニークなフィールド・スタディーを続けている。一年目の昨年は出版され、今年夏に実施された二回目も、出版に向けて準備が進んでいる。

(編集委員・五味洋治)

各地を回る旅をしているのは、今年テーマは「辺境」。十  
恵泉女学園大学(東京都多摩  
市)の学生たち。昨年は八月に  
十一人が東京を出発し、福岡か  
ら釜山に渡り、ソウル、北京を  
回った。

ソウルでは南北の軍事境界線  
である非武装地帯(DMZ)  
や、文化産業の発展を国レベル  
で進める「韓国コンテンツ振興  
院」などを訪問。中国では戦争  
関連の史跡や北京市東部にある  
芸術村「798」などを見学、  
交流した。

恵泉女学園大学では、これま  
でもアジアの国々について、半  
年ほど学んだ上で実体験する  
授業を実施してきたが、日中韓  
を同時に巡るのは初めての試  
み。

学生たちも今回の旅をきつか  
けに韓国の非正規雇用や、中国  
の水汚染問題などに関心を寄  
せ、文章にまとめた。

指導教員で旅行に同行した李  
泳采准教授のエッセーを加えて  
「東アジアのフィールドを歩く  
—女子大生がみた日・中・韓  
のすがお—(梨の木舎)として  
今年六月に発売された。

## フィールド・スタディー 今年も出版へ



中国東北部・延吉市で、日本語を学ぶ地元の大学生と交流する  
恵泉女学園大学の学生たち—今年9月、間宮美南海さん提供

## 東京・恵泉女学園大

イ村は、朝鮮戦争(一九五〇〜  
五三年)の時、戦火を逃れてき  
た北朝鮮住民が住み着いた村  
だ。  
川崎市多摩区の国際社会学科  
四年、間宮美南海さん(三〇)は、  
「村に住む年配の女性から、朝  
鮮半島の分断には日本も責任が  
ある」と言われ、言葉に詰まっ  
た」と振り返る。  
訪問先で感じたことを卒論に  
生かしたり、韓国や中国に留学  
を決めた学生も出てきた。  
李准教授は「難しい関係もあ  
るがダイナミックな東アジアを  
見て、何かを感じてくれた学生  
が多かった」と振り返る。  
来年は沖縄、台湾、韓国・済  
州島を見て回り、植民地支配や  
戦争に苦しんだ島の人々と交流  
を図る計画だ。

## お茶会、ミニコンサートなど

## 「いい庭」を楽しもう

東京都内にある日本庭園が連携して22  
日~12月7日、お茶会やコンサート、ラ  
イトアップなどで魅力を伝える「東京い  
いい庭キャンペーン」を展開する。2020年  
東京五輪・パラリンピックに向け、日本  
庭園に親しんでもらう雰囲気づくりが狙  
いだ。



東京いい庭キャンペーンのパンフレット

## 11月28日前後 都内24カ所で

都建設局によると、十一月二十八日を  
「いい庭の日」に位置づけ、その前後に都  
立や国公立、民間など都内の二十四庭園  
が、それぞれの特色を生かしたイベントや  
サービスを一齐に実施する。

たとえば、旧岩崎邸庭園(台東区)は庭  
園ガイドやミニコンサート、国営昭和記念  
公園(立川市)は「お茶を楽しむ会」を企  
画。季節柄、菊花展や紅葉のライトアップ  
を実施する庭園も多い。

このキャンペーンは、都の呼び掛けで十  
月に発足した「東京の日本庭園おもてなし  
協議会」による活動の一環。参加する庭園  
の紹介やイベント内容をまとめたパンフレ  
ットを製作し、庭園や最寄り駅で配る。

# カルチャー Culture インフォメーション

◆自死問題シンポジウム むきあう・さ  
入向けに、島の求人情報などについて約  
180の島がPR。参加費無料。@アイラ

日13時~17時、板橋区立文化会館4階大  
会議室(東武東上線大山駅、都営三田線  
板橋区役所前駅)。増田寛也氏(元総務  
大臣・元岩手県知事)による基調講演と  
シンポジウムを実施。参加費無料。@700円

わたしの夢  
★川崎市 小学6年・山本舞雪さん★  
「アニメクリエイターになりたい」  
omで申し込む。@全国不登校新聞社—  
03(5963)5526。  
◆集团的自衛権で本当に国民の命と暮ら  
し守れるか?—閣議決定を検証する  
20日18時~20時20分。@護国寺2階講